

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 9月 13日 (13:15~14:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	6 人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 人	人	0 人	10 人

前回の改善計画	・ 初回利用時の情報の共有をおこなっているが、担当職員を中心にご本人の情報やご家族や地域との関わりも軒下マップを用いて把握していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 軒下マップはケアマネから担当者へ書類を渡されて記入し、ご利用者のファイルへいれてある。追記も行っている。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	7	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	9	0	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	5	0	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	5	2	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ ケアマネージャーと職員とでご自宅に事前訪問させていただき、情報を共有している。 ・ 書類は、回覧でまわり確認した人はサインをしている。 ・
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ サービス開始時などサービスを手厚くしていることも多く。アセスメント時など今のサービスでいいか確認することを職員はしなかった。 ・ 職員には担当のご利用者がついていますが、担当のご利用者の手順書の見直しや追加できているか不安がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 今後も軒下マップを用いてご利用者の関係性なども把握していきながら、小規模をご利用するにあたり何を目的としてサービスを支援していて、慣れない時期の貴重な意見を聞き出し記録に残していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年 9月 13日 (13:15～14:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	6人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	・今後もご本人の「～したい」を普段のご利用時の会話のなかから聞き出し、介護計画書に反映できるように次回のアセスメントや生活記録、カンファレンスや会議などで情報を共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「～したい」を会話から聞き出すことは行っても、記録に残したりカンファレンスや会議などで話し合うことはあまりされていなかった。 ・その日の天候や体調をみて散歩やドライブなど気分転換することができた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	0	6	4	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	7	3	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	5	5	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	6	4	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・その日の体調などをみて、外気浴の声かけやしたいことの実現にむけて1日の予定を組んでいる。 ・カンファレンスや会議で話し合った内容を実行できるように支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・転倒やケガなどしないように安全に過ごす事が支援の方向性にあるような気がする。 ・ご利用者の目標や「～したい」をすべて把握していないから	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今後もご本人の「～したい」を普段のご利用時の会話のなかから聞き出し、介護計画書に反映できるように次回のアセスメントや生活記録に残す。 ・「～したい」を目で見てわかるように壁画を工夫してみる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令 6 年 9 月 13 日 (13 : 15～14 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー	6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	6 人	4 人	0 人	10 人

前回の改善計画	・サービス担当者会議では「以前の暮らし方」を 10 個以上把握するのは難しいため、ご本人が通いサービスのご利用時に聞き取りをして記録に残す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・聞き出すことは行っていたが、記録にできている人とできていないことも多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	1	9	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	3	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	7	3	0	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	7	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	7	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・常に体調や顔色、声色や気持ちの変化に気付いた時、生活記録や申し送りノートを活用しながら共有出来ている。 ・刻み食やおかゆ等ご本人の希望や ADL に合わせて提供している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・全ご利用者の「以前の暮らし方」を 10 個以上把握して支援にあたることは困難がある。 ・認知症のご利用者の方の情報収集や本当の思いの把握が思うように出来ないことがある。 ・自宅での生活環境を理解するための情報がご利用者によって差がある。	
次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・今後もサービス担当者会議では「以前の暮らし方」を 10 個以上把握するのは難しいため、ご本人が通いサービスのご利用時に聞き取りをして専用の用紙に記録に残す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年9月13日（13：15～14：00）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	6 人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	6 人	4 人	0 人	10 人

前回の改善計画	・ 今後も軒下マップを活用し、今現在の深いつながりの方や、生活歴の再確認を行い、本人の望む暮らしの意向に結び付けていくために、シートに追加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 担当職員が軒下マップを追記していた。 ・ もともと軒下マップがあるご利用者の見直しが行われていない方もいた。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	6	3	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	3	5	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	4	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	5	5	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 送迎時や訪問時、サービス担当者会議の時にご自宅でも話を聞くことができた。 ・ プランの見直しのたびに意向確認や困っている事などご本人・ご家族に伺っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 事業所が関わっている以外の時間にどのように過ごされているかすべてのご利用者を把握していない。 ・ 必要な地域資源を活用できていないご利用者もいられるのではないかと感じた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 今後も軒下マップを活用し、今現在の深いつながりの方や、生活歴の再確認を行っていく。 ・ 担当者は対話の中から 24 時間の生活パターンを知り、他の職員とも共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年9月17日（13:15～14:00）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	5人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	6人	1人	10人

前回の改善計画	・ 毎月の研修会の内容のなかに「地域資源」について話し合う機会を設け、担当者を中心に必要な資源が使われているか、またはこれから使える資源があるか話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 軒下マップや普段つながりのある民生委員や福祉用具、担当の包括支援センターともケアマネを中心に連絡やサービス担当者会議などにも参加してもらった。 ・ 使える資源について話し合う場（機会）がなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	6	3	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	7	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	8	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	9	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ ふれあい収集、配食弁当、シルバー人材、床屋さんなどの資源を利用しながらサポートできている。 ・ ご利用者の変化に気づき、職員間で共有し支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 社会資源について話し合う場がない。 ・ ご利用者の高齢化や認知症状、転倒リスクなどご家族のニーズが優先される事があるため、ご利用者のご希望に添えられない事があった。 ・ 新人職員は地域の資源について認知が薄い。学習が足りていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 「地域資源」について話し合う機会を設け、担当者を中心に必要な資源が使われているか、またはこれから使える資源があるか話し合う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年9月17日（13：15～14：00）
6. 連携・協働	メンバー	5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	4人	1人	10人

前回の改善計画	・こしじ地域勉強会や地域会議などに職員も参加して、管理者・ケアマネだけでなく職員も地域との繋がり の機会を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・こしじ地域勉強会に参加できた職員もいた。 ・事業所の地域活動や運営推進会議にも職員が参加できた。 ・地域のイベントも少なく、ご利用者が参加できそうなものはなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	8	1	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	3	5	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	6	4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	6	4	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・避難訓練や運営推進会議などで地域の方と職員も話し合いに参加できた。 ・サービス担当者会議に福祉用具や民生委員などとも話し合いができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域のクリーン作戦には参加したが、地域の行事はほとんどなかった。 ・コロナ後、事業所の行事も地域の方が参加できる行事を行っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・今後もこしじ地域勉強会や地域会議などに職員も参加して、管理者・ケアマネだけでなく職員も地域との繋がり の機会を増やしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年9月17日（13：15～14：00）
7. 運営	メンバー	6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画	- 今後も運営推進会議には職員も参加をしていけるように勤務を調整していく。 - 全体会議や日頃のミーティングで意見に対して、管理者を中心に職員間でその解決策を話し合い改善計画を提案して運営につなげていく
前回の改善計画に対する取組み結果	- 運営推進会議に職員も参加できた。 - 全体会議や日頃のミーティングで意見を出し合っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	5	5	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	9	0	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	3	6	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	2	6	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 報告書を記入し改善点を考え反映できるようにしている。 - 毎月の全体会議で意見を言う場がある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- 地域と協働した取り組みは不十分で苦情を聞くまでに至っていない。 - 運営推進会議は職員勤務時間や訪問などで参加が難しい人もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
- 今後も運営推進会議には職員も参加をしていけるように勤務を調整していく。 - 全体会議や日頃のミーティングで意見に対して、職員間でその解決策を話し合い改善計画を提案して運営につなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年9月17日（13：15～14：00）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	4人	6人	0人	10人

前回の改善計画	・リスクマネジメントがなぜ必要であるかを研修する機会を作り、管理者を中心にヒヤリハット報告を重要視していくことで事後につながらない取り組みを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・年間業務計画の中に研修予定で学ぶことができた。 ・ヒヤリハット報告書や事後報告書で改善に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	7	0	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	5	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	5	0	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・年間業務計画の中に研修予定や年間目標ができた。 ・毎月、目標に対する評価を行って管理者が目を通してしている。 ・外部研修にも参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会への参加は管理者やケアマネなどしか参加できていない。 ・資格取得のための研修には参加していない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・業務年間計画書を活用して、チームとしての目標と個人目標の達成のために、今年度の振り返りと次年度の目標設定を考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和6年9月17日（13：15～14：00）
-----	------------------------

9. 人権・プライバシー

メンバー	5人
------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	1人	0人	10人

前回の改善計画	・ 同一建物のグループホームで成年後見人を活用している方がいられるので、職員を対象にした研修会の開催について管理者・ケアマネを中心に計画し、職員は参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 事業所の内部研修は行ったが、成年後見人から直接の研修などはなかった。 ・ 外部研修に参加した職員もいるが、その職員からの研修は行っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	1	0	0	10
②	虐待は行われていない	9	1	0	0	10
③	プライバシーが守られている	7	3	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	6	2	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	2	0	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 3ヶ月に1回身体拘束や虐待、感染症については研修等が行われ、会議録を確認している。 ・ 記録の管理や他者が見えるところには置いていなかった。鍵のかかる書庫に入っている。 ・ 成年後見人の利用を考えていたご利用者とご家族に話し合いの場を設けることができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ トイレ誘導の際、周囲に配慮しながら声掛けを行っているつもりだったが、結果的には大きな声になっていたことがあった。 ・ 成年後見人の開始となるまでのプロセスと、ご利用するにあたり料金がかかったり、医師の意見書が必要になりスムーズに話が進まなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ 排泄時やご利用者に聞こえるような大きな声で個人を特定できるような職員間の会話に気を付ける。 ・ ご利用者の情報が入っている書庫の扉を開けっ放しにしない。	